

ナイトセッション
国連海洋科学の 10 年 市民団体との協働に向けて

開催日時：2021 年 9 月 13 日（月）17：00～19：30

会場：オンライン

主催：日本海洋学会

共催：日本水産学会、日本海洋政策学会

コンビーナー：森岡優志（海洋研究開発機構）田中広太郎（笹川平和財団海洋政策研究所）、
近藤能子（長崎大学）、伊藤幸彦（東京大学大気海洋研究所）

趣旨

国連海洋科学の 10 年（以下、海洋 10 年という）は、国連が掲げる持続可能な開発のためのアジェンダ 2030 を達成するために、海洋科学を駆使して持続可能に海洋を利用し管理する国際的な枠組みである。2021 年から 2030 年までの 10 年間を対象として、世界各地で海洋 10 年に関する取り組みが行われる予定で、日本からの貢献も期待されている。2021 年 2 月には日本国内委員会が正式に発足し、海洋 10 年に向けた日本の取り組みの事例集などがウェブ上で公開されている。2021 年 6 月には海洋 10 年で最初のハイレベル会合や海洋若手専門家 (ECOP) のオンラインイベントが行われ、海洋 10 年の機運が世界各地で高まっている。

日本海洋学会では、2019 年秋季大会以降、海洋 10 年に向けた国内準備状況の紹介や海洋科学者サイドと社会的ニーズとの関わりについての議論を進めてきたが、これからの海洋科学研究を担う若手研究者との連携は十分ではない。また、海洋 10 年は海に関わる専門家だけでなく、教育、行政、民間、NPO/NGO など、あらゆる分野の海洋関係者を対象としており、持続可能な海の将来について様々な視点から議論を行い、1 つ 1 つ具体的な活動につなげていくことが重要である。

このナイトセッションでは、海に関わる国内の専門家やステークホルダーを交えて、海洋 10 年の国内外の動向や取り組みの事例を共有し、専門分野や世代を超えてネットワークを構築することを目的とする。一生に一度と言われる、海洋 10 年の機会を活かして、私たちが求める海の将来を共に考え、行動につなげる契機とする。

プログラム

司会：森岡優志（JAMSTEC）

スケジュール	時間	タイトル	講演者（敬称略）
17:00-17:15	15 分	The Ocean Decade で求められ、目指すべきもの	植松光夫（Interim Decade Advisory Board (IDAB) 暫定諮問委員会委員、

			埼玉県環境科学国際 センター 総長)
17:15-17:25	10 分	ECOP Program and its opportunities for regional networks	Karina Higa (Women4Oceans, Sustainable Ocean Alliance - Young Ocean Leader)
17:25-17:40	15 分	漂着物が映す自然と 人間	村上健太郎 (砂浜美 術館 理事長)
17:40-17:55	15 分	多様な主体が協働す る「持続可能な里海 づくり」	神田優 (黒潮実感セ ンター センター 長)
17:55-18:10	15 分	漁師の知恵を科学す る～漁業現場と海洋 科学の対話の促進に 向けて～	田中丈裕 (里海づくり研究会 議 理事・事務局長)
18:10-18:30	20 分	全体討論	進行：道田豊 (東大 AORI 教授)
18:30-19:30	60 分	懇親会 (オンライン)	進行：安藤健太郎 (JAMSTEC 専門部 長)